

令和6年度 一般社団法人
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

精度管理総括

渡邊 景介（東海中央病院）



精度管理総括

令和6年度岐臨技精度管理調査 受付開始 6月1日～15日 JAMTQC

試料発送 8月25日 岐臨技事務所 県医師会と共同

回答締切 9月6日

1次報告書 9月25日 41施設に発送

2次サーベイ発送 10月6日 参加希望施設

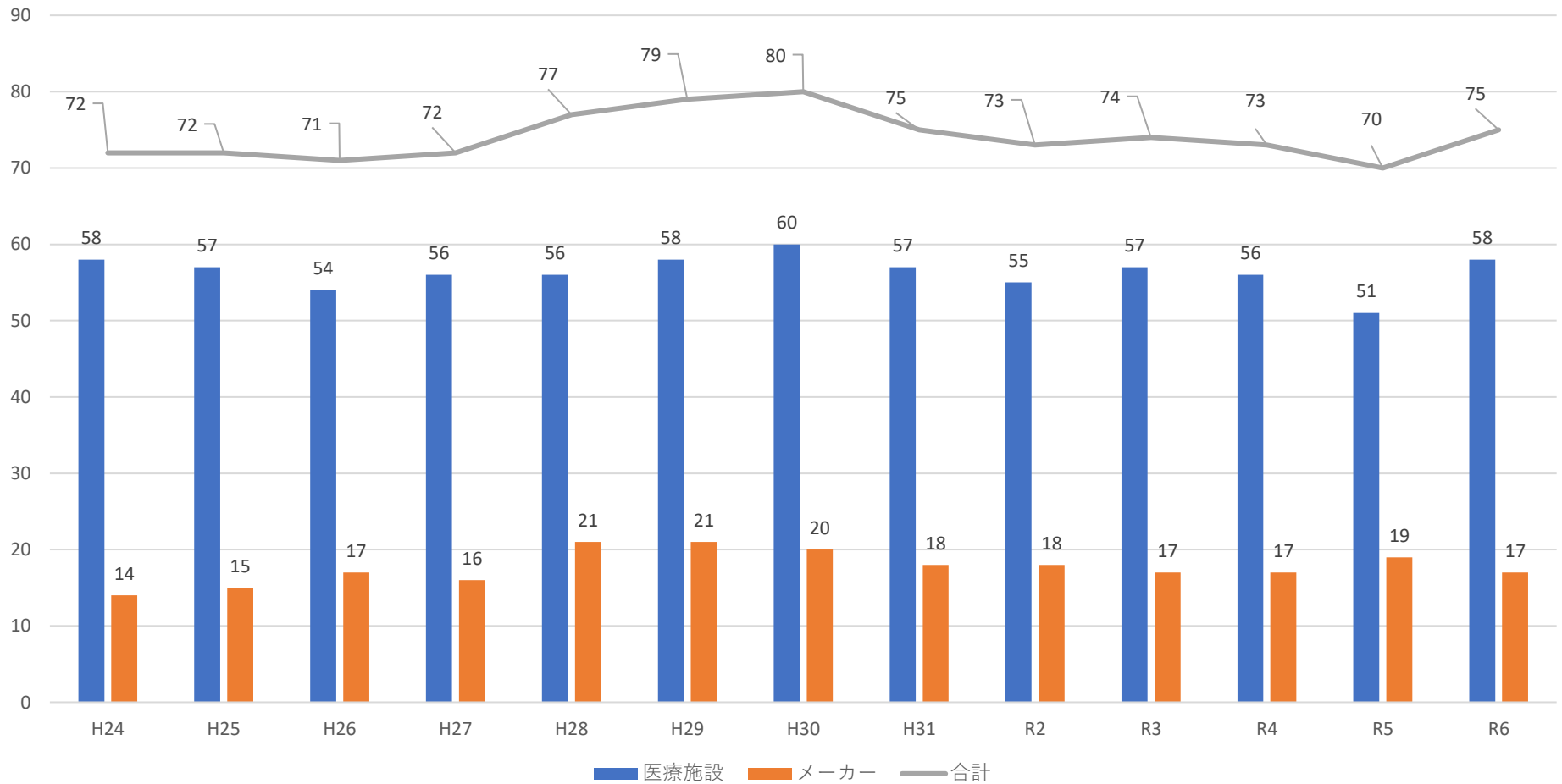
再入力期間 10月7日～11日

最終報告 10月20日

総括集・報告書発送

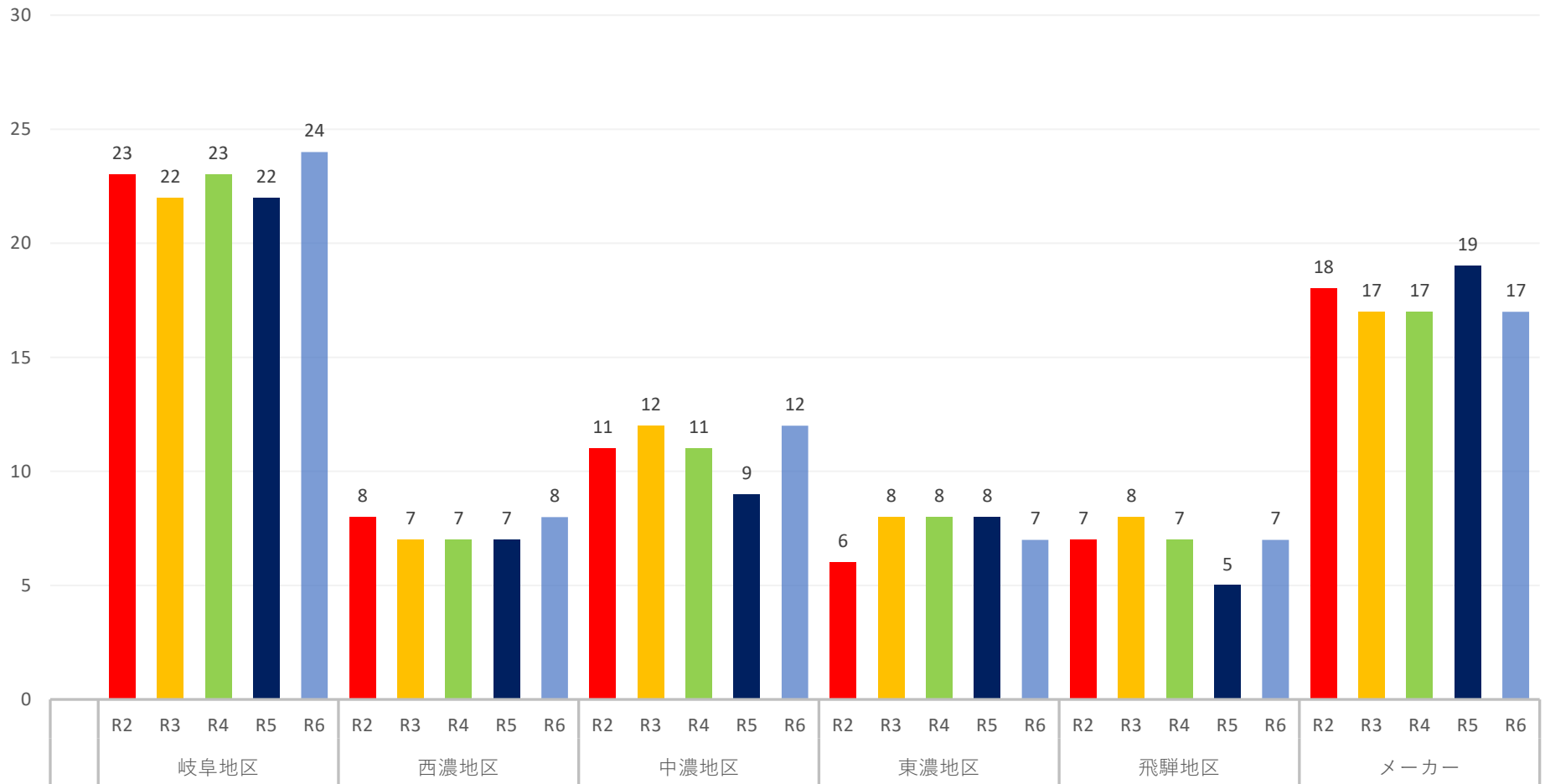
精度管理総括

参加施設の推移



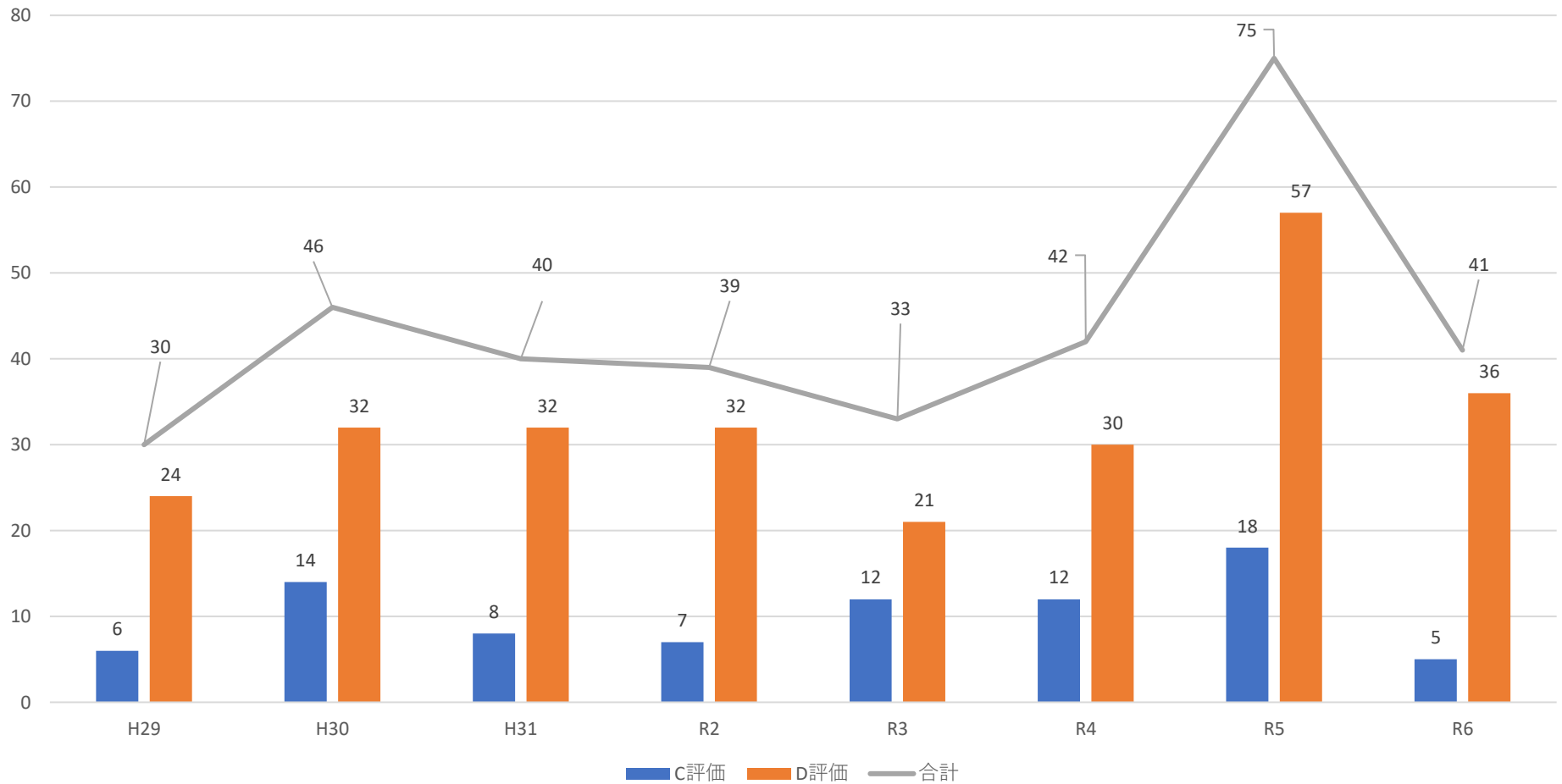
精度管理総括

地区別参加施設の推移



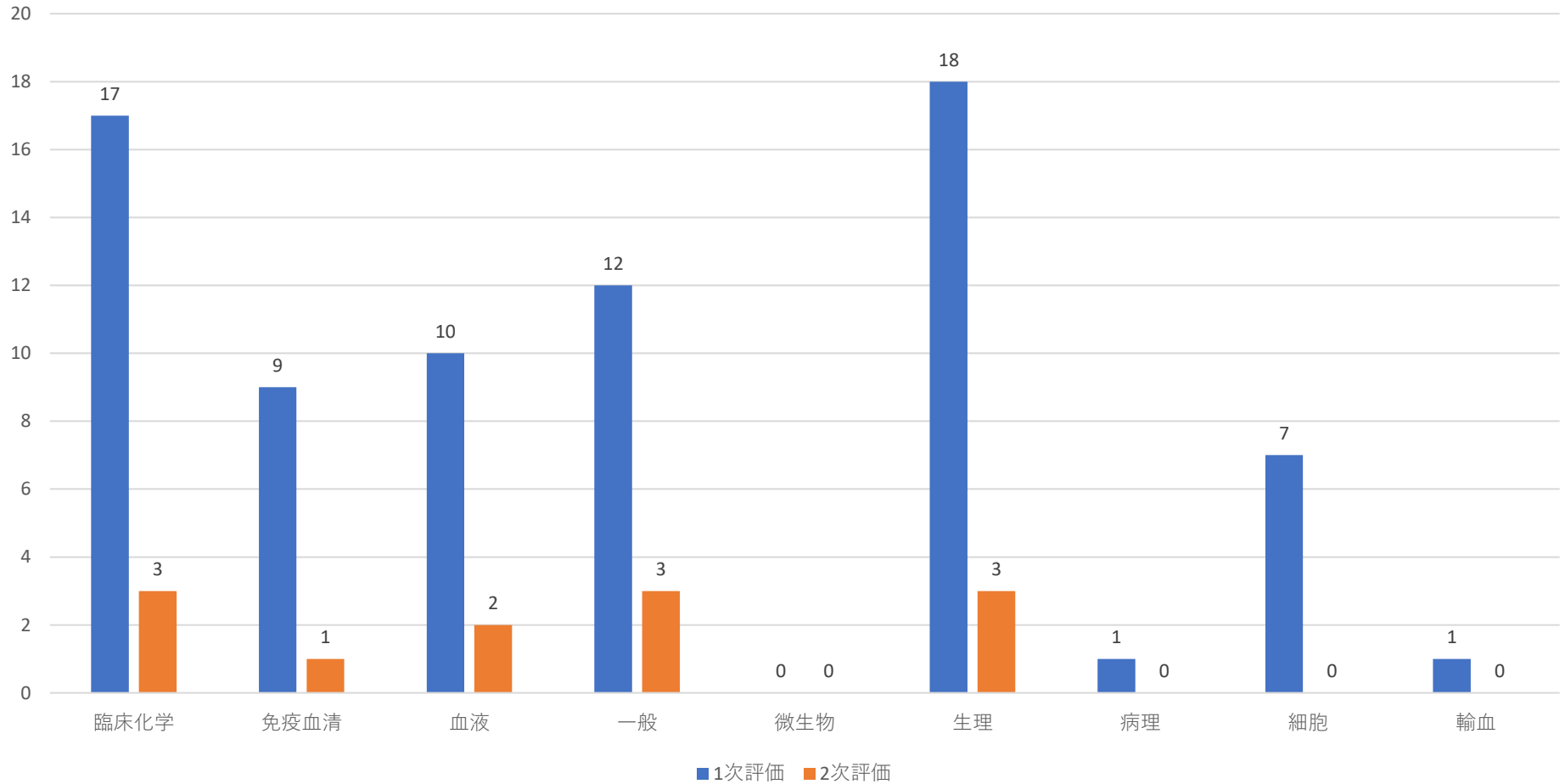
精度管理総括

1次評価施設数の推移



精度管理総括

部門別CD評価の推移



精度管理総括

TSHハーモナイゼーションについて

TSH		Ave	SD	CV
A機器	岐阜	0.442	0.03	5.85
		28.139	1.36	4.85
	日臨技	1.9	0.125	6.59
		14.976	0.877	5.86
B機器	岐阜	0.57	0.02	2.86
		35.16	0.93	2.64
	日臨技	1.714	0.057	3.35
		12.545	0.402	3.21
C機器	岐阜	0.502	0.02	2.33
		33.022	0.06	1.83
	日臨技	2.057	0.053	2.58
		15.625	0.34	2.18
D機器	岐阜	0.37	0.01	3.31
		25.834	0.8	3.08
	日臨技	1.404	0.054	3.87
		10.688	0.379	3.55

• ABCD評価: 目標値 ± 許容幅  絶対的評価

SDI評価: 平均値 ± 標準偏差  相対的評価

SDI(Standard Deviation Index): 標準偏差指数

自施設の値が平均値からどれくらい離れているかを示す

$$\text{SDI} = \frac{\text{自施設の値} - \text{平均値}}{\text{標準偏差}}$$

- SDI評価の問題点
- 分母が標準偏差を使用しているため、収束したとしても一定の割合で $\pm 2SD$ (もしくは $3SD$)を超える測定値が出現してしまう。収束する項目では評価が厳しくなってしまう。
- よってABCD評価で評価AでもSDI評価で ± 2 (もしくは 3) SD を超えて、評価にコメントが入ってしまう。

K(カリウム)を例にとると・・・

平均値 (Mean)5.93 標準偏差 (SD)0.06 の場合
測定値が5.8とすると

$$SDI = \frac{5.8 - 5.93}{0.06} = -2.17$$

評価A: 5.8～6.1

評価はAでもSDIは±2SDを超えてしまう。

精度管理総括

	全 体	
試料	試料①	試料②
mean	3.62 (3.70)	5.30 (5.42)
SD	0.04	0.00
CV%	1.09	0.00

試料②でSDが0.0、CVが0.0

3SD除去をしない場合
全施設平均値:5.3
標準偏差:0.1
CV%:1.8

Kの実施施設43施設中5.3以外の
施設が4施設

3SD2回除去すると5.3以外
の施設は計算から除去され
てしまったためSDが0.0、CV
%が0.0となってしまう

精度管理総括

- まとめ
- 今年度は昨年より5施設(医療施設で7施設増、メーカーで2施設減)増加しました。参加していただいた施設に感謝申し上げます。
- 1次評価で約40施設が2次サーベイの対象になりましたが、多くの施設が2次サーベイで改善が見られている。
- 今年度よりCBCとHbA1cが市販コントロールになり、発送場所も岐臨技事務所に変更になりました。最初の発送および2次サーベイの発送も事業部員のご協力によりスムーズにできたことに感謝申し上げます。
- 調査開始後の設問の不備による手引書の再配信、選択肢の不備、1次サーベイ報告書の発送後の再評価による対象施設の変更など、参加施設の方々にはご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。来年度はそのようなことがないように気を付けます。

ご清聴ありがとうございます。

来年度も引き続きよろしく願い
いたします。